

空沼岳・万計山荘のトイレはピカピカだった！

山のトイレを考える会
事務局長 仲俣善雄

「万計山荘友の会」(以下 友の会)は2025年5月に設立30周年を迎えます。長く続けることは大変です。万計山荘の維持管理を長年に亘って続けてこられた友の会に敬意を表します。

空沼岳は札幌市民に愛されている山です。小さな児童も登ってきます。静かな佇まいの美しい万計沼は心が安らぐ休憩所となっています。そこに山荘と清潔できれいなトイレがあることは登山者にとってありがたいですし、市民にとっても誇らしいことです。



万計山荘とトイレの入口



静かに佇む万計沼

昨年の6月「第30回万計山荘小屋開き」に1泊で参加させていただきました。山荘トイレはピカピカ、臭いも全くなく、快適に利用させていただきました。フォルクローレと二胡の雲上コンサートも堪能しました。



フォルクローレのコンサート



二胡のコンサート

30年前に当時の営林署から管理を友の会が引き継ぎました。その時のトイレ便槽は素掘りで浸透式でした。万計沼で大腸菌が検出されたと聞いています。その後友の会で募金を集め小屋補修工事を実施。その時にカートリッジ式便槽4台導入し、札幌市と交渉して年1回バキュームカーによる汲み取りを開始したとのこと。山荘までの長い林道の維持管理は森林管理署さんの協力も必要です。その後万計沼では大腸菌は検出されずきれいな沼になったと聞いています。



山ガール専用トイレ



E M菌を便槽に投入する会員

小屋開きでは友の会の人々がトイレの清掃、E M菌（消臭と汚物の減量化）の便槽への投入作業をしていました。また、回収したトイレ紙の焼却もしていました。これらの目立たない会員の皆さまの努力が維持管理を支えています。友の会の皆さまの益々のご健勝とご活躍を願っています。

（以 上）